

《テーマ投稿》5月号のテーマ「昭和の日・昭和の思い出」

同窓会毎年開催の65年奇跡

天白区八事山年輪会第4クラブ
水谷 勝彦

私は、戦後間もない昭和24年に、名古屋市立菊里高校定時に入学した。

私を含め大半の同級生は空襲で家を焼かれ、生活は困窮していた。全日制の進学は諦め、働いて得た収入で家計を助け、授業料も自分で払い通学する道を選択した。しかし働きながらの通学は困難であった。入学時には、40名近くいたメイトが、一人減り二人減りし、卒業時には25名程度に減っていた。

在学時の印象に残っていることで修学旅行がある。米がまだ配給制で、家から持参した。また、仕事があるため旅行は、5月のゴールデンウィークに、名古屋から超満員の夜行列車で、私は連結部の上で東京まで行った。旅館では、半社会人であり背広を着ている生徒もあって、先生と間違えられる笑い話もあった。メイトは、助け合い、励ま

読者の声

★51号の社交ダンスの記事に写真が、皆さん楽しそうな姿が出ていました。読みながら私も、もう一度何か続けられる習い事探そうかな?と、うん。とりあえずは、天気が良い日は歩け歩け運動をしてみようと今年もスローガンにしました。頑張ります!!! (西区 K)

し合い、強い絆が生まれ「菊二会」なる同窓会を結成し、毎年開催している。毎年開催で65回も行った会は、ギネス的ではないだろうか。今年も開催予定。

中学3年生の修学旅行

緑区桃山寿会
土井美智子

昨今、東京へ行くには2時間もあるが、行ってしまえば、私が中学生のころは、新幹線もなく、遠い遠い所のよりに思っていました。まるで、外国へでも行くみたいだった。

修学旅行へ行く前日、胸わくわくで準備していました。ところが雨が降って、運動靴がどろどろになりました。裏の土間へ行って、たらいに運動靴を入れて、固形石鹸をたわしにこすりつけて洗い、その後、今は無いかもしれないけれど、粉の歯みがきをつけて白くして、軒下の日の当たる場所へ干して、修学旅行当日の朝、両手でパンパンはたいて、白い粉を落として、集合の学校へ行きました。

正月の思い出

千種区あじさいクラブ
和田 鈴子

昭和12、13年の頃です。元旦の朝は、父を中心に祝い膳につき新年の挨拶、お年玉をもらい、屠蘇、おせち、お茶をいただき、雑煮を食べてから学校の式に行くのです。校長先生の祝辞、「年のはじめ」を歌い、最後に紅白のまんじゅうをいただいたて終。急いで帰宅、母が袂の長い晴着を着せてくれ近くの神社へ初詣。親戚の家を回りお年玉をいただく。

友達と誘い合い商店街(円頓寺)へ、出店も揃い賑わっていました。一度は途中雨になり、母が藤の丸い大きな籠の乳母車で迎えに来て、4人で立って、傘さして、乗せられ帰ったこと等懐かしい思い出です。

昭和の中頃、初詣には和服の夫人も多かったですが、今は正月でも和服の人は稀です。寂しいですね。そういう自身もカートを頼りますが、カラオケで昭和の歌を歌っています。

ヤマザキマザック美術館 尾州徳川の花相撲



『象形花卉帖』編：谷上廣南 1923年 雑花園文庫

帝もサムライも熱中!
いとしの植物たち
本展では、名古屋園芸の創業者である小笠原左衛門尉亮軒氏のコレクション「雑花園文庫」の植物図譜などを、知って楽しい“花の対決”視点でご紹介。江戸の園芸文化をご堪能いただけます。

入館料 100円引き
点線を切り取り、美術館受付にてご提示ください。(8月26日まで有効)
※本券と持参の方を含む5名まで有効
※コピー不可/その他の割引との併用不可
お問い合わせ:ヤマザキマザック美術館

- 会期 2018年4月20日(金)~8月26日(日)
- 開館時間 平日:10時~17時30分 土・日・祝:10時~17時
- 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日) ただし8月13日は開館
- 入館料 一般1,000円(10名様以上800円)他 ※音声ガイド無料サービス有
- アクセス 愛知県名古屋市東区葵一丁目19-30 地下鉄東山線「新栄町」駅(1番出口)直結 ☎052-937-3737
- その他 Web: http://www.mazak-art.com

昭和の思い出

守山区吉祥会
瀬尾かね子

私が低学年の頃です。終戦直後、進駐軍が現在の守山自衛隊駐屯地に駐屯していました。駐屯地から大型トラックに大勢が乗り、何台も連ねて瀬戸街道を通り過ぎて行きました。その頃は、街道の両側にさまざまな商店がぎっしりと並んでいて、私の家も叔父がタバコ、薬品、洋品等の店を営んでおりました。

アメリカ兵が初めてお店に入ってきた時は、一人っ子の私は、大勢のアメリカ兵が怖くて奥の隙間からドキドキしながら様子を眺めていました。叔父は、大学を卒業したばかりのようで、英語が話せる相手が多かったです。大

次号テーマ

「これまで達成したこと」

次号のテーマは「これまで達成したこと」です。秋は収穫の季節。あなたがこれまでに挑戦し、成し遂げた出来事とそれにまつわるエピソードをお寄せください。

勢のアメリカ兵が毎日のように買い物に来るようになり、だんだん慣れて店に時々顔を出せるようになりました。ある日、一人のアメリカ兵がニコッと微笑んで私に小箱をくれました。中にはチョコレートとビスケットが詰まっていた。現在のよう甘いお菓子が豊富に無かった時代です。時々もらった甘いちよっぴり幸せな思い出です。